

# 成長・貢献・感謝

# 三年生の決意と抱負と覚悟

羽地中学校  
学校だより 9 号  
2019. 4. 16



三年一組 K・M さん

三年生になってからも、私はまだ進学したい高校も未来も、ちゃんと決めていないので、担任に見捨てられないかと不安でした。でも、担任のM先生は「見捨てたりのしないよ」と言ってくれたので、少しほっとしています。三年のクラスは明るい人達やデシヤラス・ショートカットのM先生もいらっしやるので、楽しいクラスになりそうです。

受検の前にいろいろな学校行事があります。運動会の練習は、一・二年生が見本となるぐらい一致団結して成功させたいです。地区陸も応援を頑張り、合唱コンクールでは二年生にグランプリを奪わないように、まとまって練習し、金賞とグランプリを取りにいきたいです。受検では、日々の生活から意識してみんなの見本となるぐらいの行動を心がけていきたいです。毎日の積み重ねを大切に、受験の日に後悔しないように頑張っていきたい。一年間、よろしく願います。



三年一組 Z・S さん

僕は三年生になって、今まで以上に頑張っていきたいです。なぜなら、僕たち三年生にとって大事な一年で、人生で最初の壁である受験を乗り越えなければならぬ時期だからです。ですから、授業に集中したり、話を聞くなどの当たり前のことや、ノートを工夫したり、話をメモするなどのことも、今まで以上に頑張っていきたいです。そして、運動会や合唱コンクールなどの学校行事は今回が最後になるので、一生懸命になって参加していきたいです。みんなの足を引っ張らないように頑張っていきたい。三年生として、後輩を引っ張っていけるようになりたい。そのために、自信を持ち、責任を果たせようになりたいです。



照屋年之（ガレッジセール・ゴリ）さん監督・脚本の映画、「洗骨」を美浜で観てきました。妻の死を受け入れられず飲んだくれる父・信綱と信綱が残した借金を返済するものの父を軽蔑する長男・剛、訳あり妊婦の長女・優子が洗骨の儀式を行うために粟国島に帰ってくる。バラバラになった家族を亡くなった母が再びつないでいく、笑いありの感動ストーリーでした。生きることに死んでいくことを粟国の美しい自然が紡いでいく秀作。大いに泣き、笑えます。

# 新任式ごあいさつ



おはようございます。国頭中学校からきました、N・Y（O）と読みます。是非、覚えてください。漢字も。数学を担当しますが、非常勤講師なので授業だけ担当します。羽地中と名護高校の両校を授業するので、名護高校のことが聞きたければ、気軽に声をかけてください。今、皆さんの表情を見ると、みんな顔を上げて聞いているので、これからの授業がとても楽しみます。よろしく願います。